

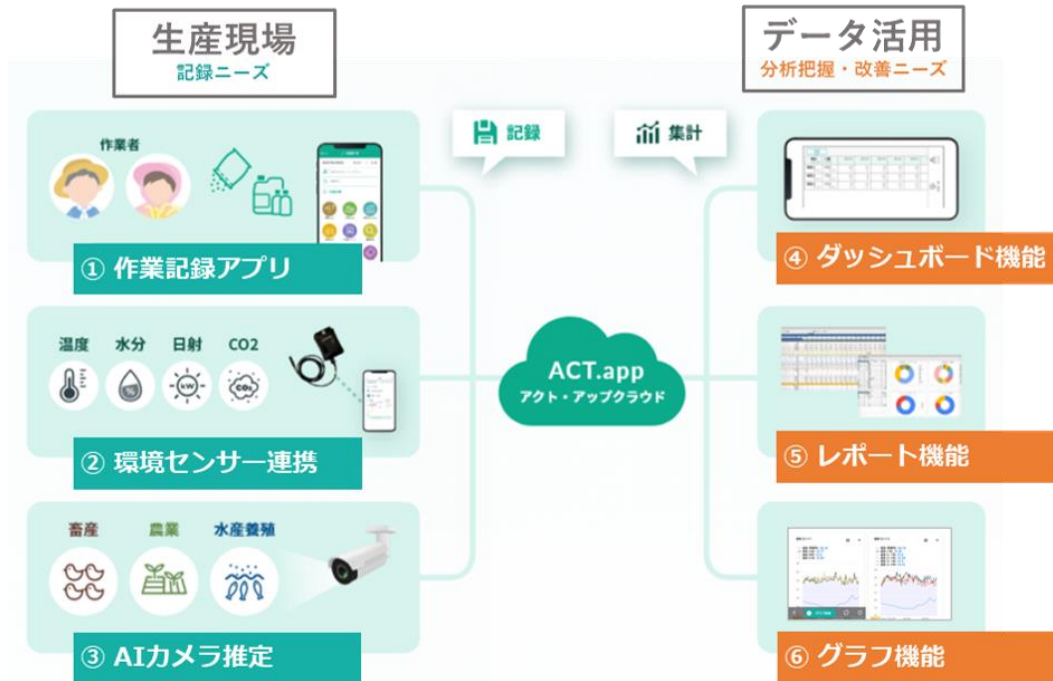
01.

アクト・アツプ^o 概要

農業・畜産・水産養殖むけアプリ
「アクト・アツプ」の概要について説明します。

アクト・アップ°について

アクト・アップ°は農業・畜産・水産養殖の生産者向けのクラウドアプリです。施肥や給餌などの作業記録や、環境データの記録、育成状態の記録をスマホアプリやセンサーを使って行うことができます。記録されたデータは表やグラフで集計して見やすく表示することも出来ます。



アクト・アップ°の機能

機能	説明
記録アプリ	作業や利用資材、観察結果などをアプリで簡単に記録。
センサー連携	センサーと連携し、データの取り込みが可能。
AIカメラ	カメラ画像をAIで分析しアプリに記録。
ダッシュボード	記録データからKPI(重要指標)を、リアルタイムに集計して表示。
レポート作成機能	記録データを集計し自動で各種レポートを作成。
グラフ機能	記録データ、センサーデータをグラフで時系列に表示し比較。

▶ 次のページへ続く

基本機能：メイン画面とメニュー



- ① メニュー
- ② レコードの作成
- ③ 記録の一覧表示
- ④ ラフ管理
- ⑤ ダッシュボード管理
- ⑥ マップ設定
- ⑦ お知らせ

機能	説明
1. メニュー	アプリの各種機能メニューを表示します。
2. 「記録」ボタン	このボタンを押して記録を行います。
3. 記録一覧	すべての記録が一覧で確認できます。
4. グラフ機能	記録データをグラフで表示できます。新しいグラフの登録や変更もここから行います。
5. ダッシュボード機能	記録データを集計しダッシュボード形式で表示します。生産作物に合わせたダッシュボードの追加もここから行えます。
6. マップ設定	地図上で場所(圃場や畜舎)の登録や確認が出来ます。作業状況に応じて場所を色分けして状況を確認することも出来ます。
7. お知らせ機能	システムからのお知らせや、アラートなどの確認する機能です。

基本機能：メイン画面とメニュー



- ⑧ グループ情報設定
- ⑨ メンバー一覧の閲覧&メンバーの招待
- ⑩ 記録テンプレートの設定
- ⑪ レポート管理
- ⑫ センサー、AIカメラ、カムカードコネクト
- ⑬ アドバイザーの機能
- ⑭ ユーザ情報設定
- ⑮ パスワードを変更
- ⑯ 言語切替

機能	説明
8. グループ情報	グループ情報の確認や設定が出来ます。 有料プランへの変更やアップグレード、ダウングレードもこちらから行います。
9. メンバー一覧&招待	グループに参加しているメンバー(ユーザー)の確認や権限の変更、グループへのユーザーの招待が出来ます。
10. 記録カタログ	作業の記録などに利用する、記録項目の設定や変更が出来ます。 記録項目とは「作業名」「肥料」や「飼料」、温度などの「環境情報」など記録したい項目のことです。
11. レポート機能	記録データを集計するためのレポートの設定や、作成されたレポートの確認が出来ます。
12. コネクト (接続する)	各種「センサー」や「AIカメラ」「カムカード」などの接続や設定が行なえます。 CSVでのデータ出力もこちらから出来ます。
13. アドバイザー機能	アドバイザー機能を利用するための機能です。一般のユーザーは利用しません。
14. ユーザー設定	ユーザーの設定を行います。アプリの各種設定などはこちらから行います。
15. パスワード	パスワードの変更が行なえます。
16. 言語設定	アプリの表示を「日本語」「英語」など設定変更できます。

02.

アプリの インストールと初期設定

スマホでアプリをインストールし、グループを登録します。

Step
1

お手持ちのデバイスに「アクト・アップ」アプリをダウンロードしましょう！

App StoreまたはGoogle Playストアで「アクトアップ」と検索し、[入手] ボタンをタップします。



二次元バーコードからダウンロード画面に遷移できます！

App Store Play ストア

Step
2

新しいユーザーを登録しよう！

- 1 Welcome画面から「新規登録」をタップします。
- 2 登録方法を選択します。
- 3 メールアドレスを入力し [次へ]。
- 4 パスワードを設定します。

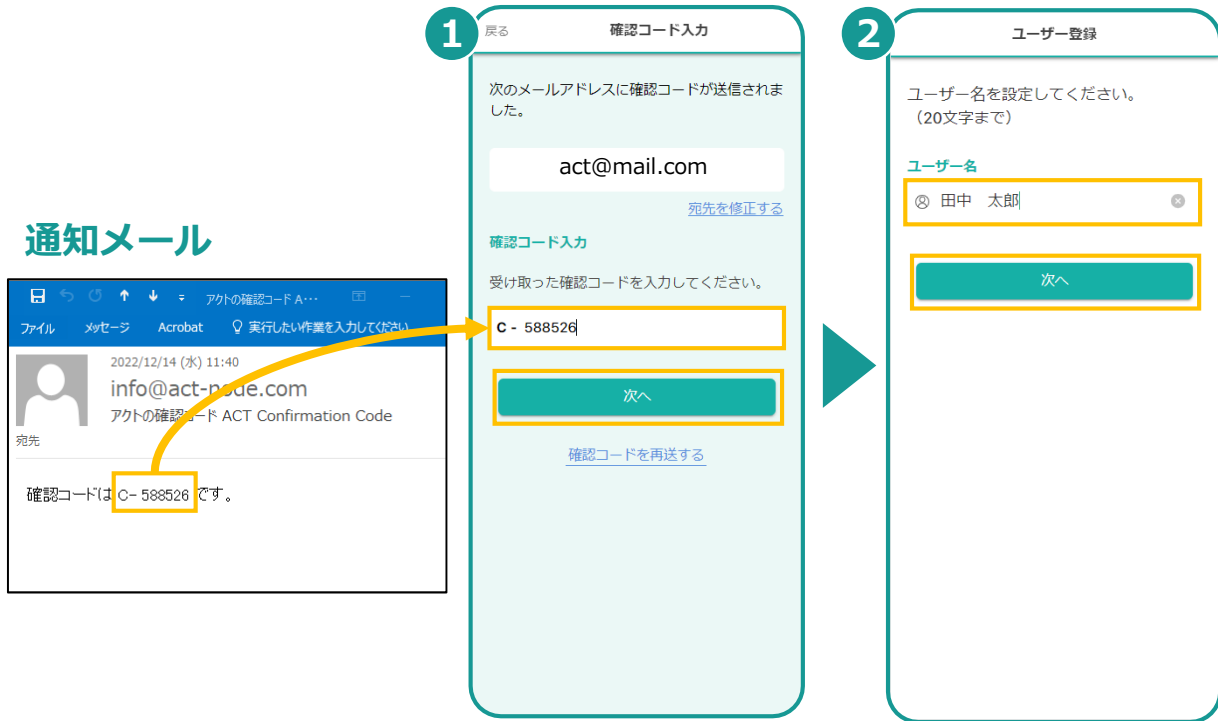


▶ 次のページへ続く

Step 3

確認コードを入力し、ユーザー名を登録しましょう！

- 1 入力したメールアドレスに [確認コード] が通知されるので、6桁の数字を入力し、[次へ] をタップします。
- 2 任意のユーザー名称を入力し、[次へ] をタップします。



Step 4

グループ名、業種、場所を登録しましょう！

- 1 会社名や団体名を [グループ名] として入力し、[次へ] をタップします。
- 2 生産する作物に一致する [業種] を選択し、[次へ] をタップします。
- 3 会社所在地や事務所所在地を「検索キーワード」に入力・検索し、ピンが指す場所に間違いがなければ、[この場所を登録] をタップします。



▶ 以上で登録完了です

03.

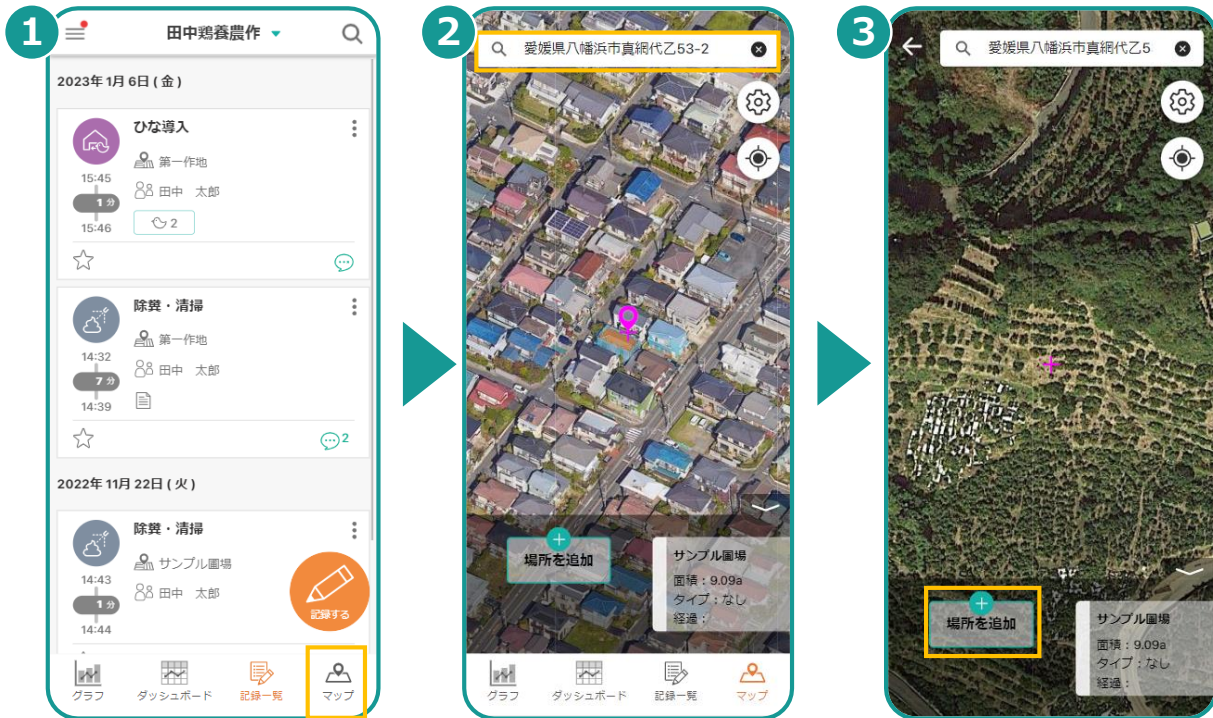
場所の登録

圃場や畜舎など作業の記録やセンサーを設置してデータを取得する場所を登録します。

Step 1

登録する場所を検索しましょう！

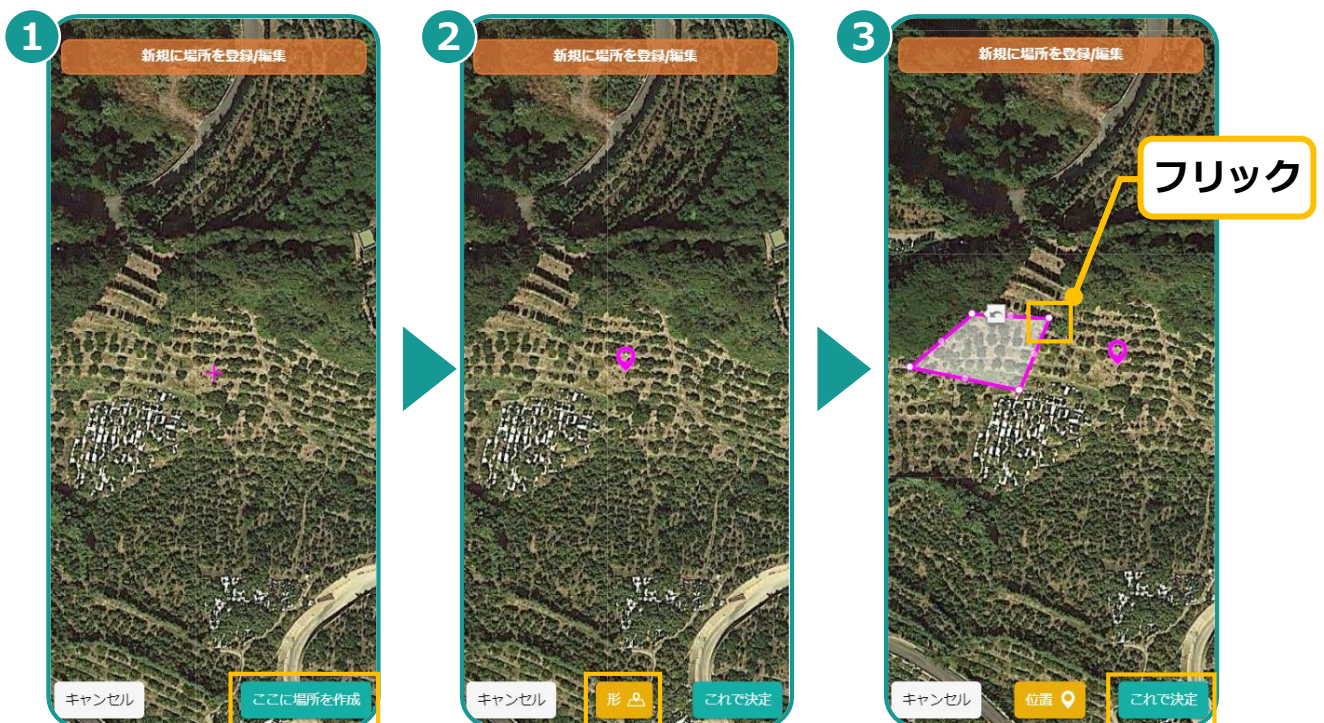
- 1 [マップ] をタップします。
- 2 「検索キーワード」に畜舎や田畑などの所在地を入力・検索します。
- 3 [場所を追加] をタップします。



Step 2

場所の形を登録しましょう！

- 1 [ここに場所を作成] をタップします。
- 2 [形] をタップします。
- 3 ○ をフリックしながら畜舎・田畑の形にあわせて変更します。形が決まったら、[これで決定] をタップします。

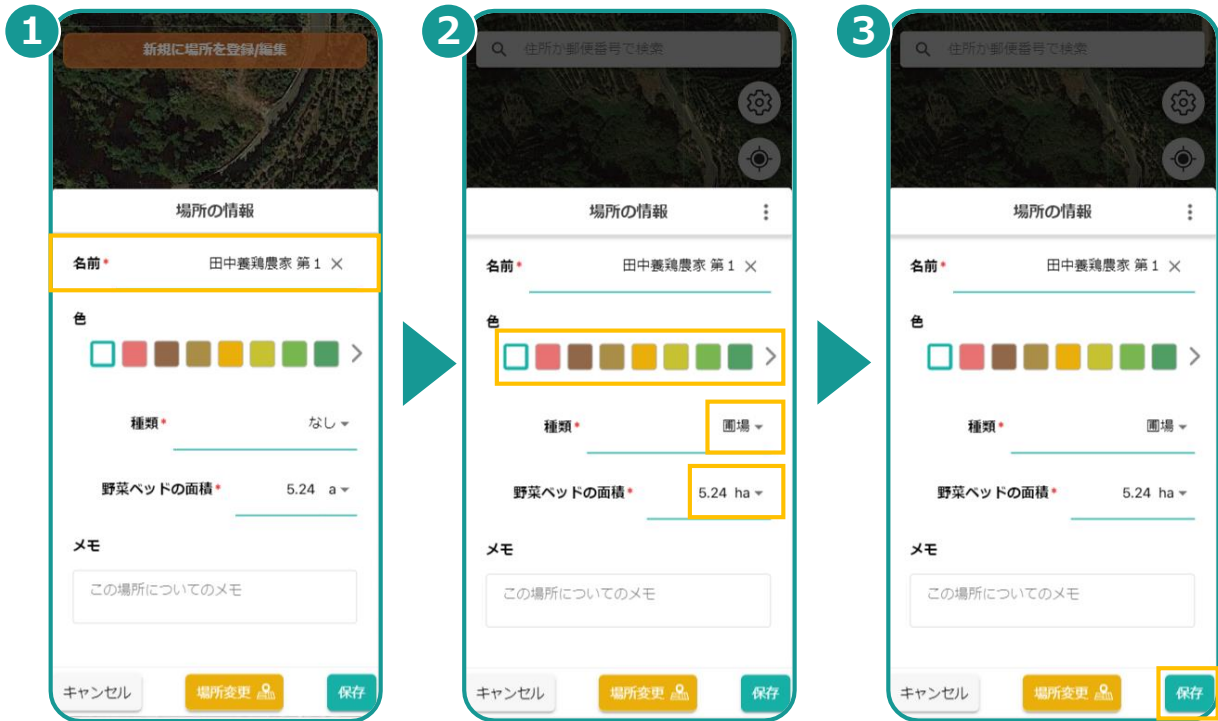


▶ 次のページへ続く

Step 3

場所の名前、色、種類、面積を登録しましょう！

- ① [名前] に場所の名前を入力します。
- ② 「色」や場所の「種類」「面積」などを必要に応じて選択します。
- ③ 「保存」をタップして場所の登録は完了です。



場所を色分けして登録できます！

[色] を選択すると、場所が色で塗りつぶされます。トマト農地は赤、レタス農地は緑など、場所を色分けして登録できます。



場所の種類や面積の単位を設定出来ます！

場所は種類に合わせて設定しましょう。レポート機能では場所の種類に合わせてデータの集計が行われます。



▶ 以上で登録完了です

04.

「記録テンプレート」で記録項目 を登録

生産作物に合わせて『記録テンプレート』を選ぶことで、必要な記録項目が簡単に設定できます。



記録テンプレートとは何か？

記録テンプレートとは、生産する作物に合わせた記録項目の集まりです。例えば「養鶏ブロイラー」のテンプレートを選択すると、養鶏ブロイラーに必要な作業や記録項目を、一括で設定することができます。

記録テンプレートを利用すれば、作物に合う記録項目をまとめたり、追加したりすることができます。



「養鶏ブロイラー」のテンプレートを使って登録された活動の一覧

Step 1

記録カタログを開きましょう！

- 1 メニューバーをタップします。
- 2 [記録カタログ] を選択します。
- 3 [テンプレート追加] を選択します。



04. 記録テンプレートの追加

Step
2

追加する「業種」アイコンを選択する。

- 1 追加する「業種」を選択し、[追加する]をタップします。
- 2 [記録カタログ]に選択した「業種」が追加されます。



既に選択済みの
業種はグレーに
なります。



05.

Webカタログから「記録項目」 を追加する

「作業名」「肥料」「飼料」「農薬」など記録したい内容を『記録項目』として登録します。

Step 1

記録カタログに新しい記録項目を登録!

- 1 メニューバーをタップします。
- 2 [記録カタログ] を選択します。
- 3 記録を追加する記録テンプレートを選択し、[追加] をタップします。



Step 2

Webカタログから記録項目を登録する

- 1 記録を追加する作業の「追加」ボタンをタップします。
- 2 「Webカタログから探す」ボタンをタップします。
- 3 検索し記録項目を選択します。



▶ 次のページへ続く

Step 3

登録した記録項目をカスタマイズしましょう！

- 1 項目のアイコンとアイコンの色を選択します。
- 2 登録する項目に合わせて、記録パネルを選択します。使用量の記録や、農薬の希釈倍率の記録など入力内容に合わせたパネルが準備されています。
- 3 単位を設定します。
- 4 [保存（追加）] をタップし、登録をします。



Webカタログから登録しよう！

Webカタログには、一般的な肥料や農薬などが登録されており、コピーして利用できます。
 Webカタログの項目は識別コードをもっており、これを使うことで作業の分析や他の生産者とのデータ比較などが行えるようになります。
 新しい項目を登録する場合はWebカタログからの登録がおすすめです。



▶ 次のページへ続く

Step
4

記録カタログの内容を確認しましょう！

① カタログの画面には、タイプ別に項目が表示されます。をタップして項目を開き「編集」で内容の確認や変更が出来ます。

【記録】画面



登録した内容が表示されます



記録項目位置の変更方法

記録項目は上下に順番の変更が出来ます。
よく使用する「記録項目」は上方に置いておくと、選びやすくなり記録が楽になります。

≡ アイコンを長押しして、ドラッグアンドドロップで上下に移動します。

長押しして、
ドラッグアンド
ドロップ



▶ 「記録項目」の追加はここまで

06.

記録のしかた

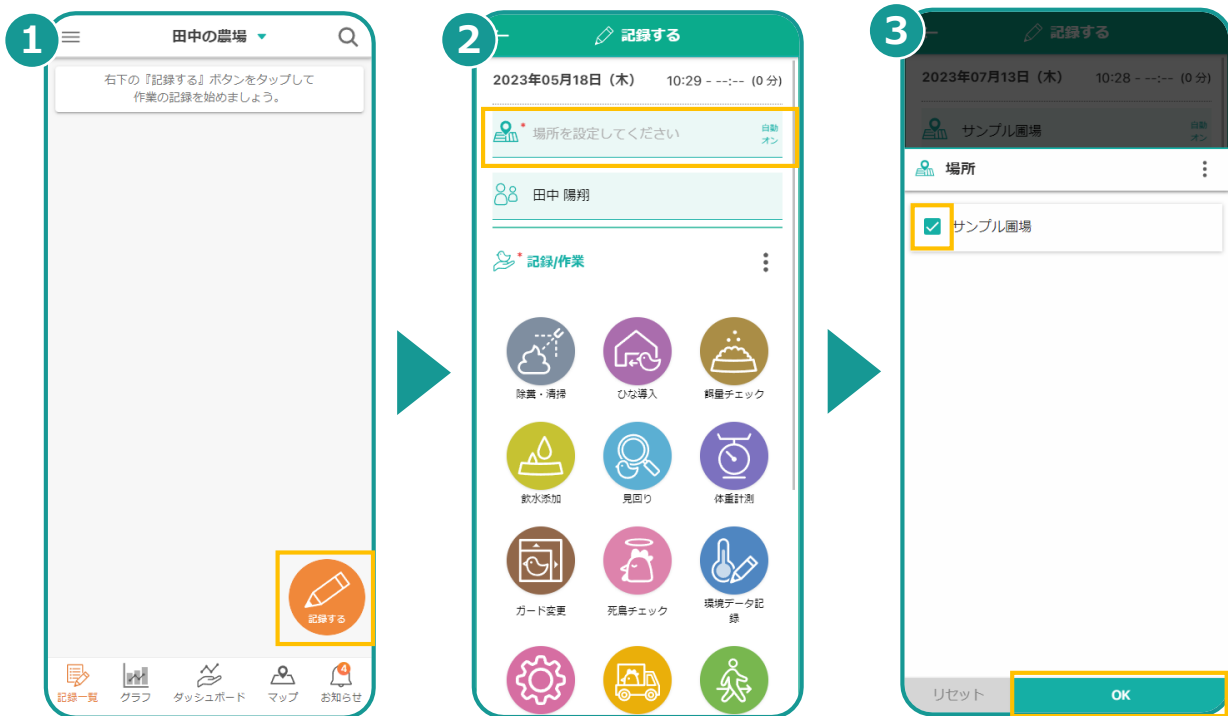
作業や資材、環境データや、育成状況などを
スマホで簡単に記録できます。

Step 1

記録を開始する

- ① 「記録一覧」画面の「記録する」ボタンをタップします。
- ② 「場所」をタップし
- ③ 一覧から「場所」を選択します。

※「自動オン」が有効になっていると、現在位置から最寄りの場所が自動で設定されます。



Step 2

メンバーを選ぶ

- ① 最初は自分自身がメンバーとして選ばれています。
- ② 変更する場合は、メンバーをタップしメンバーを変更します。

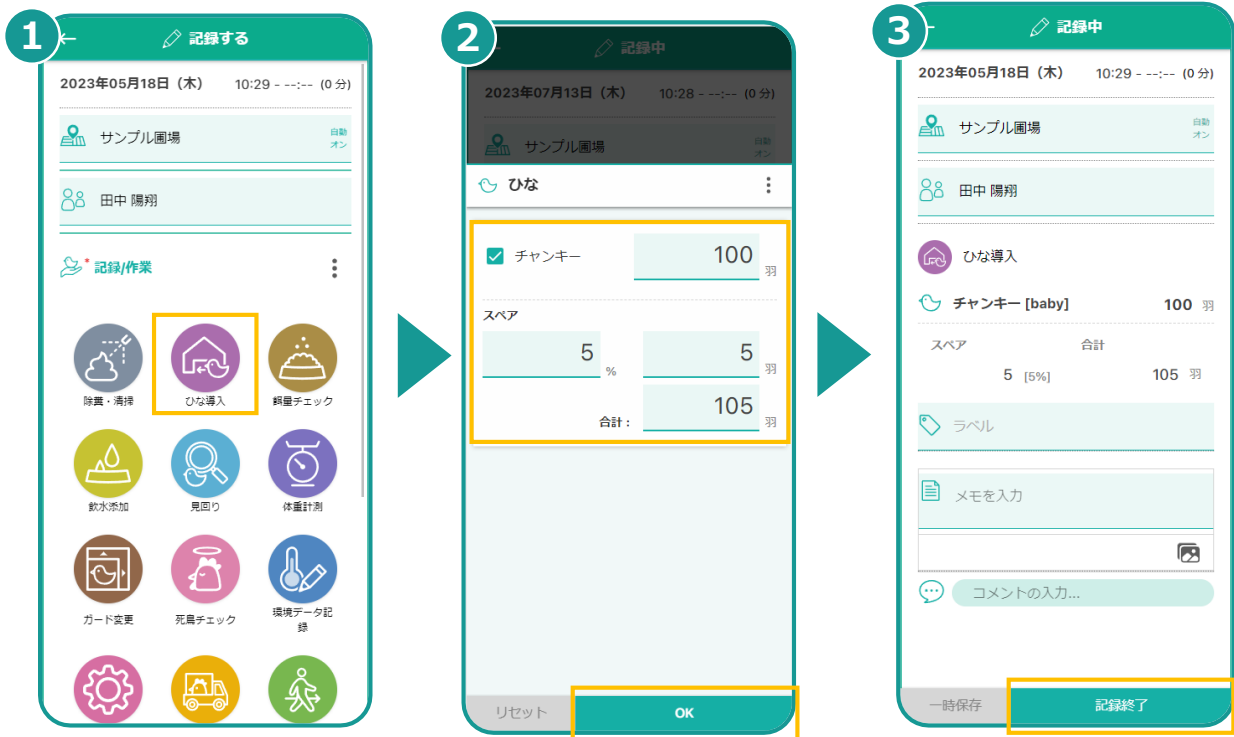


▶ 次のページへ続く

Step 3

作業を選択する

- 1 記録したい「作業」アイコンをタップします。
※このとき開始時間が設定されます。
- 2 作業に関係した情報の入力が必要な場合は自動で画面が開くので入力します。
- 3 「記録終了」をタップすると記録が完了します。
※このとき終了時間と作業のトータル時間も記録されます。



Step 4

メモや写真の入力も出来ます

- 1 メモをタップしてメモの内容を入力できます。
- 2 音声入力も可能です。
- 3 「完了」をタップで保存します。



Step 5

写真を記録する

- ① 写真アイコンをタップします。
 - ② 画像データを選択、または撮影します。
 - ③ 画像がアップされたを確認します。
- ※スマホによって画面が異なります。



作業中の記録を一時保存する

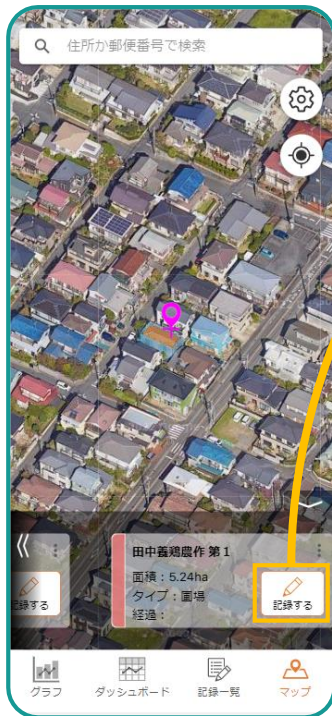
作業途中の記録は「一時保存」ボタンでセーブすることが出来ます。記録を開いて「作業終了」ボタン、または記録一覧の「終了」ボタンを押すと、作業終了時間が記録され記録が完了します。





マップ画面から記録を始める

マップ画面の場所から「記録する」をタップすると、その場所の記録を開始することができます。



場所が自動的に表示
されます



★マークでレスポンスする

他の人の記録に対して、
★マークをタップしてレスポンス
することができます。
★マークの意味は「見たよ」
や「いいね」などチーム内で
決めて自由に使ってください。



タップすると黄色に
変わります



記録にコメントをしよう

みんなの記録に「コメント」をすることが出来ます。コメントに★をつけたり、返信コメントをすることも出来ます。

記録カードをタップ



07.

グループ情報の変更

グループの説明と、グループ情報の変更
について説明します。

07.グループ情報の変更

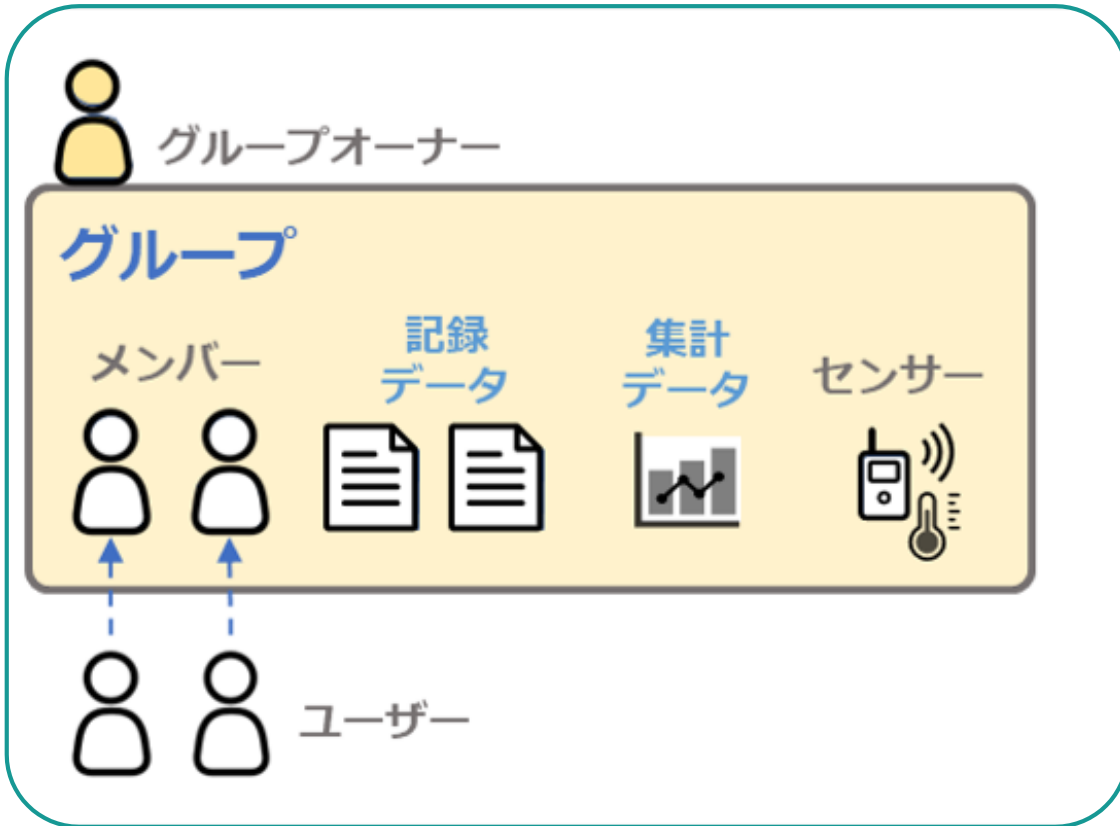
※ 「グループ」とは

記録データはグループ単位で管理されます。

ユーザーはグループメンバーとして招待され参加することで、記録をしたり記録を見ることが出来るようになります。

グループを有料版にアップグレードすることで、グループ内でより多くの機能が利用できるようになります。

ユーザーは、複数のグループに参加することも出来ます。



Step 1

グループ名を変更する

- 1 メニューの [グループ名] を選択します。
- 2 [変更] をタップします。
- 3 [グループ名] に変更する名前を入力し、📄 アイコンをタップします。



▶ 次のページへ続く

Step 2

グループカラーを設定する

- 1 「グループカラー」をタップします。
- 2 好きな色を設定します。



グループカラーで参加しているグループを判断できます

グループに参加しているメンバーの画面にもグループカラーは反映されます。メンバーもこの色でどのグループに参加しているかを簡単に区別できます。

Step 3

グループアイコンの変更

- 1 [カメラ (📷)] アイコンをタップします。
- 2 好きな「アイコン」を選びます。
- 3 [保存 (💾)] をタップします。



▶ 次のページへ続く

07.グループ情報の変更



アイコンにオリジナル画像も設定できます！

会社のロゴや写真など、自分で保存している画像をアイコンに設定できます。

- 1 [image (🖼️)] をタップします。
- 2 画像データを選択し、または撮影します。
- 3 アイコンが変更されたことを確認します。



08.

メンバーを招待する

グループに他のユーザーをメンバーとして招待します。招待されたユーザー（=メンバー）は記録をしたり、記録を見たり出来るようになります。

Step 1

招待画面を開きましょう!

- 1 メニューバーをタップします。
- 2 [メンバー & 招待] を選択します。
- 3 [メンバーを追加[招待]] を選択します。



Step 2

招待の方法を選択する

- 2種類の招待方法があります
1. ユーザーコードで招待する
アクト・アップに登録済みのユーザーを招待します。
 2. リンクで招待する
まだ登録していないユーザーや、ユーザーコードが分からないユーザーを招待します。



◆ 「ユーザーコード」を使って招待

- 1 招待したいユーザーの「ユーザーコード」を入力して検索します。
- 2 該当するユーザーが表示されるので「グループに招待」ボタンを押して招待します。
- 3 メンバー一覧に招待中のユーザーが「招待中」の状態が表示されます。



招待したいユーザーに「ユーザーコード」を確認してもらいましょう。

ユーザーコードはメニューの「ユーザー設定」画面から確認することができます。招待したいユーザーにこの「ユーザーコード」を教えてくださいましょう。



▶ 次のページへ続く

◆ 招待を受け取り、グループに参加する



招待されたユーザーには「グループ招待」のお知らせが届きます

招待されたユーザーにはお知らせが届きます

- 1 下メニューの「お知らせ」を開きます。
- 2 一覧から「グループ招待のお知らせ」を見つけ「参加する」ボタンをタップします。
- 3 グループに参加したら、グループ切り替えから参加したグループが選べるようになります。



◆ 「招待リンク(URL)」で招待

- 1 招待する人の名前を入力「招待リンクを作成する」をタップします。
※名前は仮なので、招待された人が変更できます。
- 2 招待用のリンク (URL)が表示されるので、コピーしてメールやチャットなどで招待する人に送ります。「リンクを共有」ボタンからメールやチャットを選択することも出来ます。
- 3 招待中のメンバーは、メンバー一覧の画面に「招待中」のステータスで表示されます。



「招待リンク」でグループに参加する

- 1 「招待リンク」をクリックして招待画面を開きます。アクト・アップのユーザーがあれば「ログイン」を、無い場合は「新規登録」を選びます。
- 2 「ログイン」「新規登録」が完了すると「グループに参加する」ボタンが表示されるのでタップしてグループに参加します。
- 3 グループに参加するとグループの切り替えから参加したグループが選択できるようになります。



▶ 以上でメンバー招待完了です

09.

有料プランを利用する

有料プランにアップグレードすることで、アクト・アップでより多くの機能が利用出来るようになります。より多くの「ユーザー」や「センサー」「集計機能」を使うためのAT(アクト・チケット)についても説明します。

Step 1 「プランの選択」画面を開く

- 1 メニューから「グループ情報」を選択します。
- 2 グループ情報には現在利用しているプラン（フリープラン）や、利用可能なチケット数（使用数/利用可能数）を確認できます。
- 3 プラン情報にある「アップグレード」ボタンをタップします。



Step 2 プランを購入する

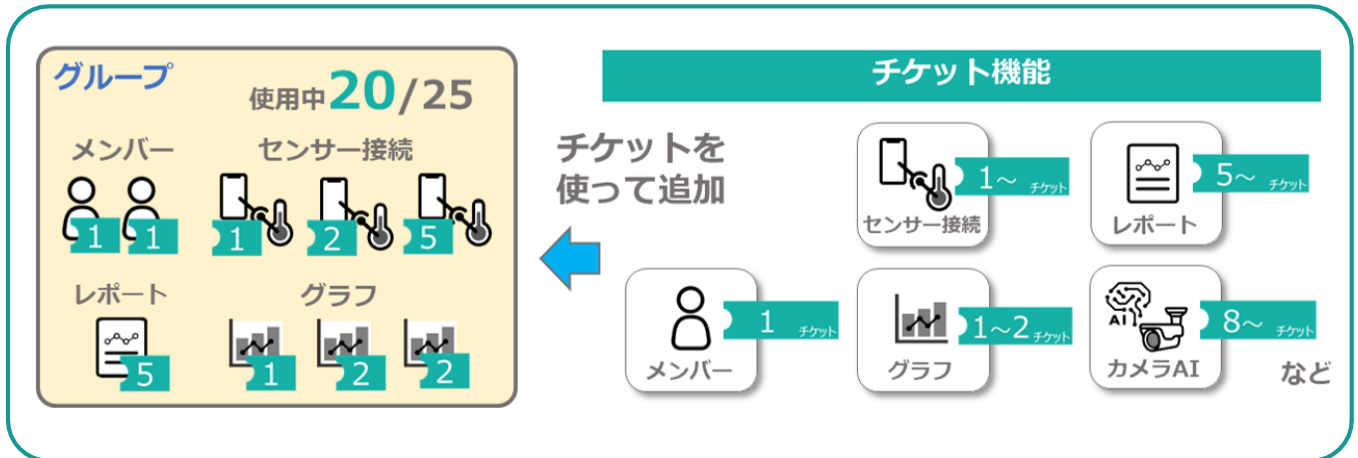
- 1 購入するプランを選択し「このプランで次へ」をタップします。
 - 2 レジットカードを登録して、支払い手続きを完了します。
- ※ 選択プランによって自動でプランは月ごと年ごとに自動更新されます。更新をやめるには解約手続きが必要です。
- ※ アプリではクレジット決済のほか、アンドロイドPayやアップルPayの利用も可能です。



▶ 次のページへ続く

チケット」について

「チケット機能」を利用するためにチケットを使用します。接続するセンサーを増やすなど、チケット機能の利用が増えてくると、より多くのチケットが使えるプランへアップグレードする必要があります。チケット機能は利用をやめる(=削除する)とその分のチケットは戻ってきます。



チケット機能一覧

チケット機能	必要チケット	備考
グループメンバー追加	1チケット	1ユーザー毎
センサー接続	1チケット~	2センサーデータごとに1チケット追加
ダッシュボード	5チケット~	ダッシュボードの種類ごと
集計レポート	5チケット~	レポートの種類ごと
AIカメ	8チケット~	1カメラ・1AI処理毎
カムカード	1チケット	カムカード記録用のカード1枚毎

▶ 「有料プラン」についてはここまで

10.

グラフ機能

記録データをグラフで表示することができます。
センサーデータ、アプリからの記録データ、AI カメラからの数値データなどすべての情報を
グラフで表示できます。

◆ グラフで表示できるデータ

「センサーデータ」「AI カメラデータ」「アプリからの記録データ」などすべての記録データ情報をグラフで表示できます。
見たいデータを使ってグラフは自由に作成したり変更することも出来ます。

また複数のデータをグラフ上で比較表示できるので、異常値を発見したり、原因分析にも便利です。
グラフのデータはCSV、Excel、PDFなどでダウンロードできるので2次活用も出来ます。

サンプルグラフ



Step 1

グラフを作成しよう①

- 1 下のメニューから「グラフ」を選択。
- 2 「グラフを追加」ボタンをタップします。
- 3 グラフの種類を選択します。マルチグラフはグラフを2～3段で表示し上下でグラフを比較できます。



Step 2

グラフを作成しよう②

- 1 データのプロット方法を選択してください。
- 2 グラフの名前を入力し「グラフの設定」で次に進みます。
- 3 集計間隔「1日毎」を変更したい場合は変更してください。集計間隔は10分毎、1時間毎など変更できます。



▶ 次のページへ続く

Step 3

グラフを作成しましょう③

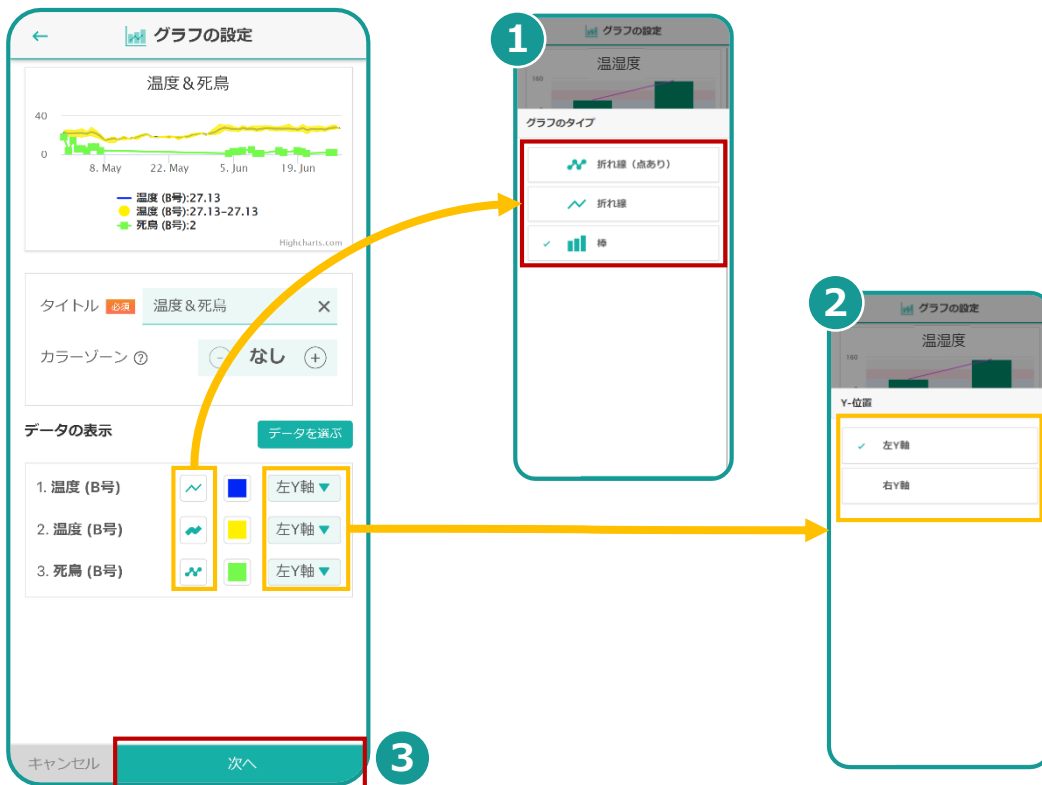
- 1 [データを選択]ボタンをタップします。
- 2 表示するデータを選択し、[グラフの表示設定へ]ボタンをタップします。
- 3 グラフのタイトルを入力します。この名前がグラフの上部に表示されます。



Step 4

グラフを作成しましょう④

- 1 データの表示方法を選びます。アイコンから表示形式（線グラフ、棒グラフ、など）を、カラー一覧から色を選択します。
- 2 データのグラフのメモリを左軸にするか右軸にするかを選びます。
- 3 「次へ」で先に進みます。



▶ 次のページへ続く

Step 5

グラフを作成しましょう⑤

- 「次へ」をタップするとグラフの作成が完了します。
- 完成したグラフは、グラフ一覧に表示されます。



グラフにカラーゾーンを設定する

グラフには数値幅を指定してカラーゾーン(色のついたエリア)を設定できます。カラーゾーンを設定すると、センサーなどの値が高すぎたり、低すぎたりしないかを識別しやすくなります。

- グラフの設定画面を開きます。
- [+] ボタンでカラーゾーンを追加し。
- 色と値の幅を数値で設定します。





「作業記録データ」をグラフに表示する

アプリで記録した作業データもグラフに表示するデータとして追加ができます。1つのデータ項目を追加するのに1チケットを使用します。

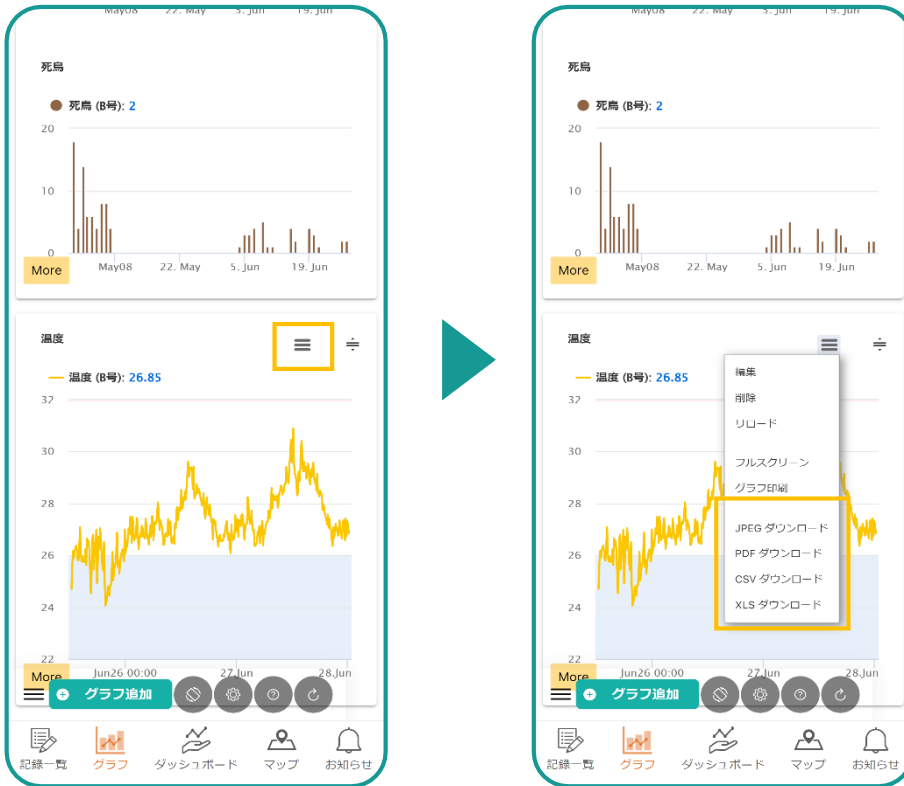
- ① グラフ作成時の「データ選択」画面で、⋮ (メニュー)>「データを追加する」を選択します。
- ② グラフで表示したいデータの「場所」と「記録項目」を選択します
- ③ 記録一覧に追加されたデータ項目が表示されるので、そのデータを選択するとグラフに表示できます。



グラフの各種機能

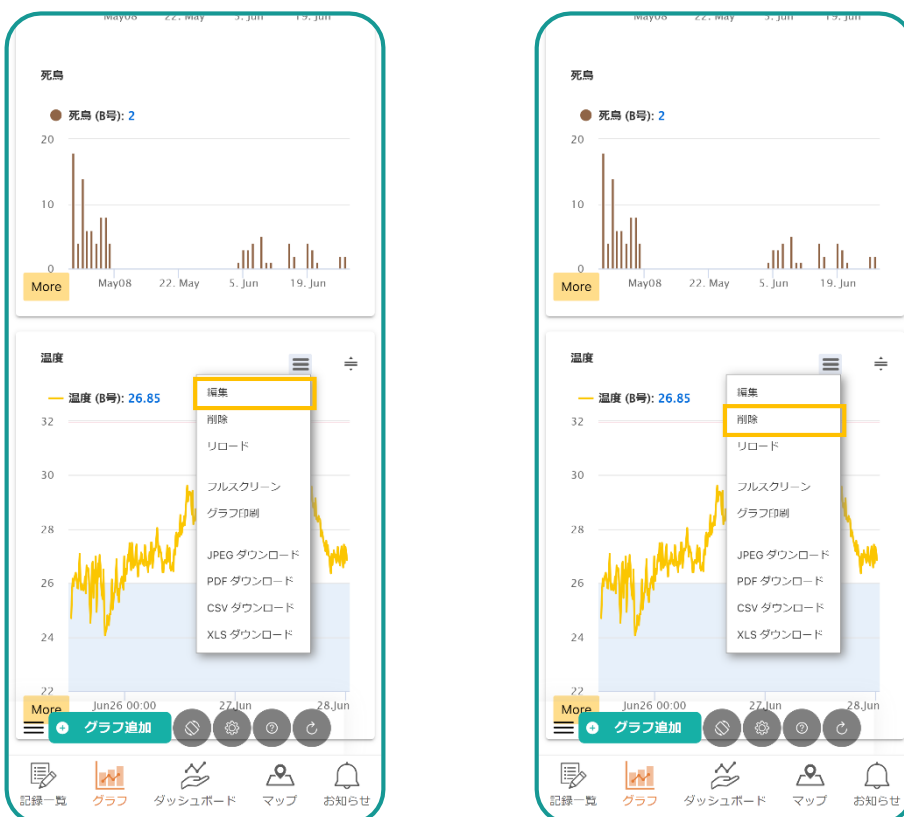
機能1: グラフのデータをダウンロードする。

作成したグラフの三メニューからデータをダウンロードできます。
画像データ、PDF、CSV、XLS形式、などが選択出来ます。



機能2: グラフの編集

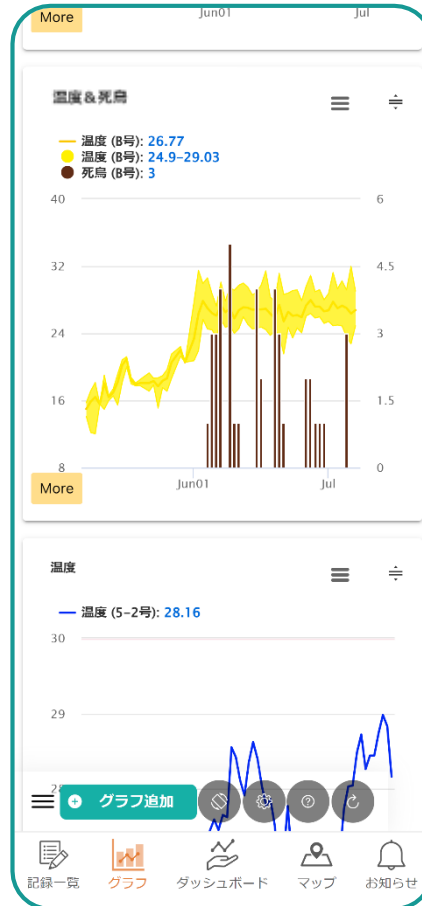
グラフの三メニューから編集や削除が出来ます。



▶ 次のページへ続く

機能 3: グラフの移動

⇨ 移動つまみをスライドすると、上下に表示位置を移動して並び替えることができます。



11.

レポート機能

記録データを様々なレポートフォーマットで集計し、ExcelやPDFファイルで出力することが出来ます。業種に合わせて準備されたレポートタイプを選ぶことで目的に合わせたレポートが作成できます。

11. レポート機能

◆ レポートとは？

レポート機能を使うと、記録データを集計したレポートが作成され、ExcelやPDFファイルでダウンロードすることが出来ます。生産品種に合わせたレポートを選択して設定してください。レポートは定期的に(通常は1日1回)作成されます。

例：作成されたレポート(エクセルファイル)

Step 1

レポートを登録する①

- ① メニューバーをタップします。
- ② [レポート] を選択します。
- ③ [新規登録] を選択します。

1. タップ

2. レポート

3. 新規登録

▶ 次のページへ続く

Step 2

レポートを登録する②

- 1 追加したい「レポート」を選択します。
- 2 [登録する] をタップします。
- 3 [OK] をタップします。



Step 3

作成されたレポートをダウンロードする

レポートの設定が完了してしばらく(1日ほど)するとレポートが作成されダウンロードが可能になります。

- 1 「メニュー」から「レポート」を選択するとレポート一覧が開きます。
- 2 レポートの (⋮) をタップしダウンロードを選択します。
- 3 ファイルの形式を選んで「ダウンロード」します。



▶ 次のページへ続く



レポートをメールで送ることも出来ます

レポートはダウンロードのほか、メールで送ることも出来ます。PCで見るために自分にレポートファイルを送ったり、誰か他の人にメールで送ることも出来ます。



12.

ダッシュボード機能

ダッシュボードは重要指標(KPI)をクイックに確認する機能です。

リアルタイムに数値が集計されます。

1つの画面で全体の様子が確認出来て、状況把握や異常の発見のスピードが向上します。

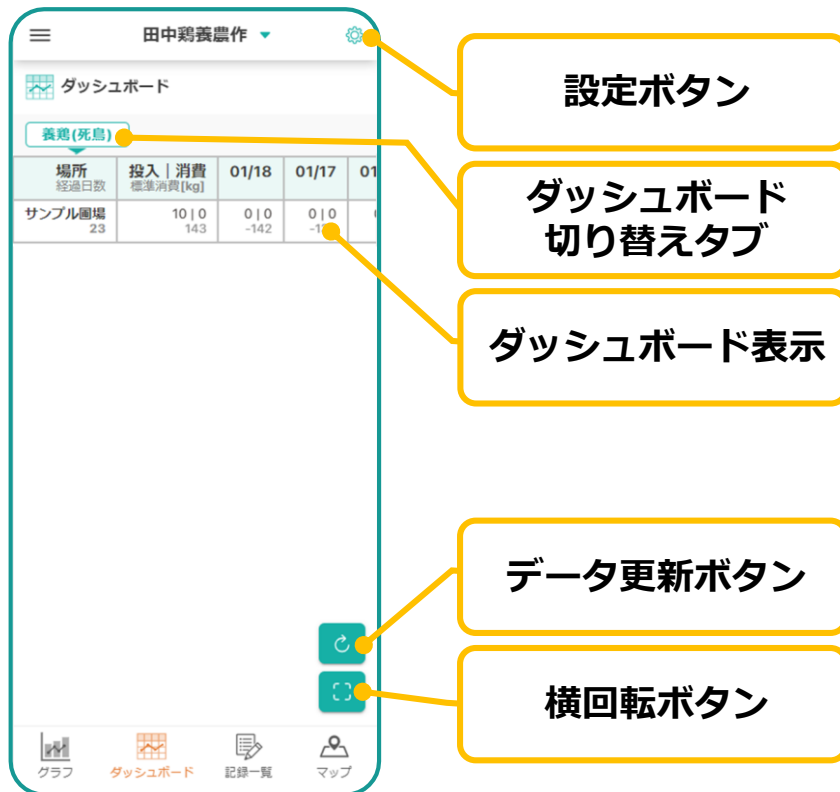
◆ ダッシュボードとは？

ダッシュボードは、記録データの中から特に重要な項目(KPI)を自動集計し表示してくれる機能です。

生産品目に合わせて必要な機能を持ったダッシュボードを選んで設定します。

例えば、養鶏では死鳥数は重要な管理項目になりますが、鶏舎毎の死鳥の状態や累計、育成率などをダッシュボードで確認できます。

ダッシュボード画面



Step 1

ダッシュボードの設定①

- 1 [ダッシュボード] をタップし、[設定 (⚙️)] をタップします。
- 2 [ダッシュボード設定] をタップし。
- 3 [ダッシュボードを追加する] をタップします。



▶ 次のページへ続く

Step 2

ダッシュボードの設定②

- 1 追加したい「ダッシュボード」を選択します。
- 2 [登録する] をタップし、[ダッシュボード設定] 画面に戻ります。
- 3 選択したダッシュボードが表示されていることを確認します。



13.

カム・カード (カメラ撮影で記録を完了)

カム・カードは名刺サイズのカードです。
「場所」「作業」「資材」などの情報が印刷されています。
アプリ「アクト・カム」で撮影するだけで記録を
することが出来ます。

◆ カムカードとは？

カム・カードは「場所」や「作業」「記録内容」が印刷された小さなカードです。

専用アプリ「アクト・カム」で撮影すると、AIが文字を認識し、アクト・アップに自動で記録を行います。

利用イメージ



Step 1

カムカードを作成する①

- 1 「メニュー」 > 「コネクト -接続する-」 を選択。
- 2 「カム・カード」 を選択します。

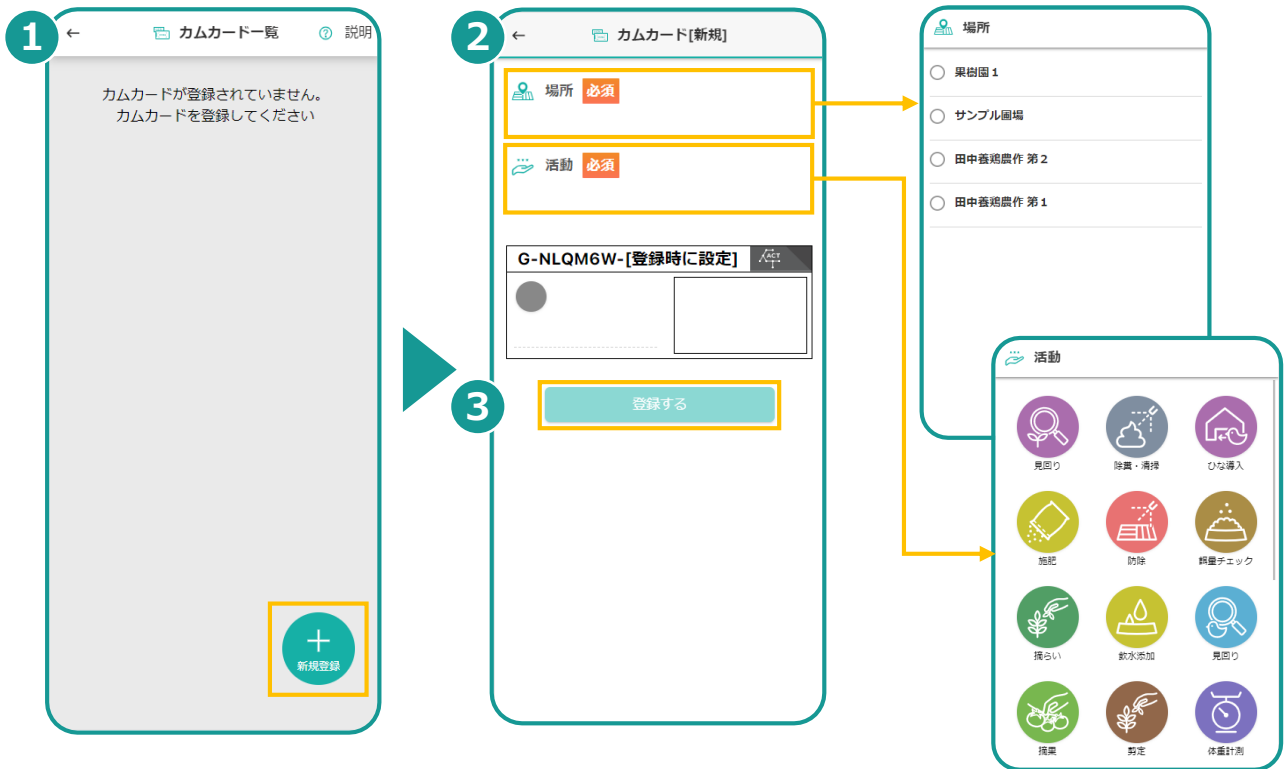


▶ 次のページへ続く

13. カム・カードで記録する

Step 2 カムカードを作成する②

- 1 「新規登録」をタップ。
- 2 「場所」「活動」など記録内容を設定し。「登録する」でカム・カードを作成します。



Step 3 カムカード(PDFファイル)の印刷

- 1 印刷したいカム・カードを選択する。
- 2 PDF出力」をタップしてPDFファイルを作成&ダウンロードする。



▶ 次のページへ続く

13. カム・カードで記録する

Step 4

カメラアプリ「アクト・カム」をインストールする

- 1 アプリストアで「アクト・カム」を検索しインストールします。
- 2 「アクト・カム」を起動し「アクト・アップ」のユーザーでログインします。

- 1 二次元バーコードからダウンロード画面に遷移できます！



App Store



Play ストア



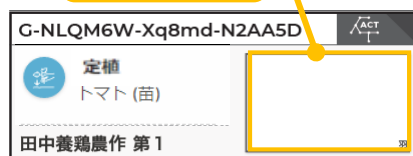
Step 5

「アクト・カム」アプリで「カム・カード」を撮影し記録する

- 1 印刷した「カム・カード」を壁やホワイトボードに貼ります。右下に手書きで数字を書くと、そちらも記録されます。
- 2 「アクト・カム」で撮影します。正しくデータが読み取れると、データがクラウドに送信されます。
※カム・カードは同時に8枚まで撮影が可能です。
- 3 「アクト・アップ」の画面で、記録された内容を確認できます。

1

数値を記入



2

撮影イメージ



3



▶ 次のページへ続く



おすすめ！ カム・カードの印刷用紙

PDFファイルになったカム・カードは、A4サイズの内紙に印刷して使います。おすすめは、ホワイトボード仕様の用紙です。水性ペンで数値を書いたり消したりして、何度も使えます。

また裏面がマグネットになっているものはホワイトボードに貼って利用することも出来ます。

特にレーザープリンター（コンビニプリンターなど）で印刷するものは防水性能が高い用紙もあります。

次の様なプリント用紙があります。

マグネット用紙「ぴたえもん」

<https://www.magx.co.jp/product/stationery/sta-pitaemon/>

・「インクジェット用（ホワイトボード）」は家庭用のインクジェットプリンターでも利用可能

・「レーザープリンタ用（屋外用）」は防湿性も高いので農場や畜舎での利用でも湿気の影響が少ない。

「カム・カード」で楽に記録するテクニック①！

「カム・カード」に記入する数字のパターンが決まっていれば、複数枚のカードを作成し、数字を書き込んでおきます。

記録する数字の書かれたカードを、アクト・カムで撮影すればその数値で記録ができます。



記録したい数字で
撮影するカードを選択

13. カム・カードで記録する

「カム・カード」で楽に記録するテクニック②！

手のひらサイズの小型スマホを「アクト・カム」専用のスマホデバイスとして利用するのがオススメです。

次の設定を行うことでタッチパネルを使わず手袋をつけた状態でも記録が出来るようになります。

1. スマホのロック解除をタッチパネルからの入力無しで出来るようにする。（顔認証やロックをかけないなど）

※他の人から不正利用されないようセキュリティーにはご配慮ください。

2. アクト・カムが起動した状態にしておく。

3. アクト・カムが起動した状態で、スマホのボリュームボタンを長押しする。→写真が撮影されて、記録が出来ます。

①電源ボタン
でロック解除

②ボリュームボタンで
カメラ撮影



タッチパネルなしで
手袋でも記録OK



小型スマホだと
首かけでも使える